

## 実践記録（小5、小6・理科）

### 1 単元 自由研究

#### 2 ねらい

自由研究における情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の場面で、タブレットPCを効率よく使えるようにすることで、児童の表現の幅を広げるとともに、お互いの発表や意見交流を円滑に進めることができるようにする。

#### 3 手立て

- ・ **タブレットPCを活用する技能の習熟**

動画保存や資料の引用など、自由研究をまとめる際に有効なタブレットPCの操作を学ばせることで、自身が行いたい研究を円滑に進めることができるようにする。


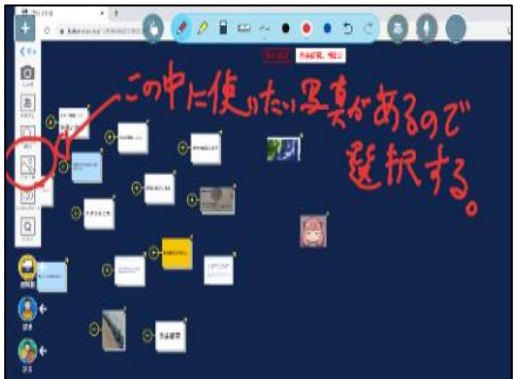
- ・ **困った時にすぐ相談できる窓口づくり**


児童がタブレットPCを活用していく際に困ったことやうまくいかないことが出てきた場合のサポート体制として、ロイロノート上に質問箱を設置し、いつでも教師に相談できるようにする。

#### 4 指導計画（2時間完了＋夏季休業中随時）

- (1) デジタルで自由研究をする方法を学ぼう・・・1時間
- (2) デジタルで自由研究を進めよう・・・・・・夏季休業中
- (3) デジタルで自由研究を発表しよう・・・・・・1時間

#### 5 実践の様子

時数	主な学習活動
第1時	<p>(1) デジタルで自由研究をする方法を学ぼう タブレットを活用して自由研究を行っていくことを伝え、自由研究で使えるような機能を児童に想起させるようにした。 児童からは「動画撮影」「写真撮影」「録音」「画像への書き込み」「グラフ化」などが使えるそうだという意見が出たので、それらの使用方法や自由研究での生かし方などの技能を指導した。 その後、進めたい自由研究のテーマを考え、どのように進めていくかの計画を立てるようにさせた。</p> 
夏季休業中	<p>(2) デジタルで自由研究を進めよう 上記以外にも児童の使いたい機能が増えたり、トラブルが発生したりなど、夏季休業中に児童が困った場合を想定し、困ったらいつでも聞くことができる「質問箱」をロイロノートの提出箱内に設置した。 児童からは、保存した画像の貼り付け方法や、ロイロノートでのグラフの表示方法などについて質問があったため、画面のスクリーンショットに説明を書き加えてた画像を送り、児童が問題を解決できるようにした。</p> 

<p>第2時</p>	<p>(3) デジタルで自由研究を発表しよう</p> <p>夏季休業明けの授業で、児童がまとめた自由研究をロイロノート上で発表した。児童は発表する際に、自らが撮影した動画を再生したり、レーザーポインター機能で伝えたい部分を強調したりしながら、聞き手に分かりやすく伝えることを意識した発表していた。</p> <p>全ての発表が終わった後で、「生徒間通信流機能」を利用して、児童が互いに発表の感想を送り合う活動を行った。カードを送り合うことで、たくさんの児童から発表に対するよい感想をもらうことができ、夏季休業中に取り組んだことへの自信を高めることができた。</p> 
------------	--

## 6 成果と課題

- テーマとして取り組んだことをデータ化したり、情報を分析したり、発信の仕方を考えたりなどの創意工夫を重ねたことで、表現の幅を広げたり、発表や意見交流を円滑に進めるができた。
- タブレットを活用させたことで、あくまでも「自由提出」だったにも関わらず、9割近い児童が自由研究を提出した。昨年度よりも大幅に高い提出率で、児童へのアンケートから「楽しかった」「やりやすかった」といった前向きな反応が多かった。
- 夏季休業中の指導として「質問箱」だけでは不十分な部分があった。週末に成果報告を求めたり、具体的な発表例を送ったりするなどの働き掛けがあれば、相談窓口として有効に働いたかもしれない。